

平成28年度 事業報告書

1. 学校法人の概要

【学校法人名】 ガッコウホウジン トウヨウガクエン
 学校法人 東洋学園
 (大臣認可年月日 昭和26年2月24日)

【主たる事務所】 東京都文京区本郷1丁目26番3号

【設置する学校、学部・学科】

設置する学校											
フリガナ 学校名 (大学本部の位置)	学部・学科等名 (所在地)	開設 年度	平成28年度				平成29年度				備考
			入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成28 年5月1 日現在 の学生 数	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成29 年5月1 日現在 の学生 数	
トウヨウガクエンダイガク 東洋学園大学 東京都文京区本郷一丁目26番3号	グローバル・コミュニケーション学部 東京都文京区本郷一丁目26番3号 千葉県流山市鮎ヶ崎1660番地	年度	平成28年度				平成29年度				
			名	名	名	名	名	名	名	名	
	グローバル・コミュニケーション学科	H25	120	10	620	294	120	10	580	340	H28年度定員変更 (160人→120人)
	英語コミュニケーション学科	H25	120	10	380	398	120	10	420	485	H28年度定員変更 (80人→120人)
	人文学部 東京都文京区本郷一丁目26番3号 千葉県流山市鮎ヶ崎1660番地										
	人間科学科	H 14	-	-	-	10	-	-	-	1	H23年度定員変更 (150人→180人)
	国際コミュニケーション学科	H 16	-	-	-	14	-	-	-	4	H25年度より募集停止(H27年度まで) H23年度定員変更 (270人→240人)
	人間科学部 東京都文京区本郷一丁目26番3号 千葉県流山市鮎ヶ崎1660番地										H25年度人文学部より名称変更
人間科学科	H 14	200	20	840	621	200	20	840	700	H25年度定員変更 (180人→200人)	
現代経営学部 東京都文京区本郷一丁目26番3号 千葉県流山市鮎ヶ崎1660番地											
現代経営学科	H 14	215	35	930	769	215	35	930	846		
東洋学園大学大学院 東京都文京区本郷一丁目26番3号											
現代経営研究科 現代経営専攻	H 20	10	-	20	12	10	-	20	17		
東洋学園大学 計			665	75	2,790	2,118	665	75	2,790	2,393	

【設置する学校、学部、学科の入学定員、入学者数等の状況】

学校名	学部・学科名	平成29年度									平均入学定員超過率 (推薦入学)	
		入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数 (推薦入学)	入定充足率 (推薦入学)	収容定員	現員	収定充足率		
東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	120名	190名	185名	180名	112名 (75名)	0.93 (0.63)	580名	340名	0.59	0.70 (0.51)	
	英語コミュニケーション学科	120名	260名	252名	241名	162名 (125名)	1.35 (1.04)	420名	485名	1.15	1.33 (1.03)	
	人文学部 人間科学科								1名			
	国際コミュニケーション学科								4名			
	人間科学部 人間科学科	200名	374名	362名	330名	240名 (202名)	1.20 (1.01)	840名	700名	0.83	0.92 (0.80)	
	現代経営学部 現代経営学科	215名	506名	482名	405名	282名 (201名)	1.31 (0.93)	930名	846名	0.91	1.10 (0.87)	
	東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻	10名	12名	10名	10名	10名 (4名)	1.00 (0.40)	20名	17名	0.85	0.65 (0.23)	
学校名	学部・学科名	平成28年度										
東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	120名	183名	179名	178名	103名 (79名)	0.86 (0.66)	620名	294名	0.47		
	英語コミュニケーション学科	120名	240名	234名	225名	122名 (90名)	1.02 (0.75)	380名	398名	1.05		
	人文学部 人間科学科								10名			
	国際コミュニケーション学科								14名			
	人間科学部 人間科学科	200名	350名	349名	338名	227名 (202名)	1.14 (1.01)	840名	621名	0.74		
	現代経営学部 現代経営学科	215名	355名	352名	316名	204名 (157名)	0.95 (0.73)	930名	769名	0.83		
	東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻	10名	7名	7名	5名	5名 (1名)	0.50 (0.10)	20名	12名	0.60		
学校名	学部・学科名	平成27年度										
東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	160名	154名	144名	142名	75名 (58名)	0.47 (0.36)	490名	199名	0.41		
	英語コミュニケーション学科	80名	218名	208名	204名	129名 (103名)	1.61 (1.29)	250名	295名	1.18		
	人文学部 人間科学科								200名	172名	0.86	
	国際コミュニケーション学科								300名	132名	0.44	
	人間科学部 人間科学科	200名	199名	195名	192名	115名 (101名)	0.58 (0.51)	620名	429名	0.69		
	現代経営学部 現代経営学科	215名	423名	416名	383名	240名 (199名)	1.12 (0.93)	930名	731名	0.79		
	東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻	10名	6名	6名	6名	6名 (3名)	0.60 (0.30)	20名	13名	0.65		
学校名	学部・学科名	平成26年度										
東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科	160名	200名	196名	195名	84名 (63名)	0.53 (0.39)	320名	136名	0.42		
	英語コミュニケーション学科	80名	199名	191名	187名	106名 (83名)	1.33 (1.04)	160名	173名	1.08		
	人文学部 人間科学科								400名	338名	0.84	
	国際コミュニケーション学科								600名	273名	0.45	
	人間科学部 人間科学科	200名	237名	234名	228名	153名 (130名)	0.77 (0.65)	400名	332名	0.83		
	現代経営学部 現代経営学科	215名	405名	397名	371名	219名 (187名)	1.02 (0.87)	930名	693名	0.74		
	東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻	10名	9名	9名	5名	5名 (1名)	0.50 (0.10)	20名	9名	0.45		

※()は、推薦入学(内数)。
 ※ 4年間の状況。
 ※ 人数等は、各年度5月1日現在の状況。

【役員(理事・監事)、評議員】

〈平成28年度理事・監事〉

理事・監事の 区別	職名又は 担当職務	フリガナ 氏 名	常勤・非 常勤の 区別	選任区分等	
				号	選任区分
理 事	理事長	エサワ ユウイチ 江澤 雄一	常勤	2	評議員会選任
理 事	常任理事	ハラダ キサコ 原田 規梭子	常勤	1	学 長
理 事	理事	サカ アツオ 坂 篤郎	非常勤	2	評議員会選任
理 事	理 事	フジマキ タケシ 藤巻 健史	非常勤	2	同 上
理 事	理 事	トダ ナオコ 戸田 直子	非常勤	2	同 上
理 事	常任理事	ヤマサキ ハジメ 山崎 元	常勤	3	学識経験者
理 事	理 事	アイチ タロウ 愛知 太郎	非常勤	3	同 上
理 事	理 事	トミサワ ヒカル 富澤 暉	非常勤	3	同 上
監 事	監 事	カワシマ ジュン 川島 純	非常勤	10	理事会選任
監 事	監 事	カノ ゲン 鹿野 元	非常勤	10	同 上

(平成29年3月末日現在)

理事長				5-2	理事の互選
理 事	(定数) 8名	(現員) 8名	(任期) 4年 (1号除く)	8-1-1	学長 (定数1名)
				8-1-2	評議員(評議員会選任) (定数4名)
				8-1-3	学識経験者(理事会選任) (定数3名)
監 事	2名	2名	4年	10	監事(評議会の同意を得て理事長が選任) (定数2名)

〈平成28年度評議員〉

フリガナ 氏名	選任区分等		備考
	号	選任区分	
エザワ ユウイチ 江澤 雄一	2	法人職員	兼理事長
ハラダ キサコ 原田 規梭子	1	学長	兼理事
タナカ キク 田中 菊子	2	法人職員	
タニモト シン 谷本 信	2	同上	
アベ ハジメ 阿部 一	2	同上	
トダ ナオコ 戸田 直子	3	同窓生	兼理事
スズキ キクエ 鈴木 喜久江	3	同上	
ウチダ ミヨ 打田 美代子	3	同上	
ウダ タカオ 宇田 隆生	4	学識経験者	
サカ アツオ 坂 篤郎	4	同上	兼理事
タン ユウスケ 旦 祐介	4	同上	
モリタ ヨシヒコ 森田 嘉彦	4	同上	
アイチ タロウ 愛知 太郎	4	同上	兼理事
フジマキ タケシ 藤巻 健史	4	同上	兼理事
タナカ モリヒコ 田中 守彦	4	同上	
モリ ショウジ 森 昭治	4	同上	
タカシマ ハツヒサ 高島 肇久	4	同上	

(平成29年3月末日現在)

(定数)(現員)(任期) 評議員 17名 17名 4年 (1号除く)	選任条項	16-1-1 学長(定数1名) 16-1-2 法人職員(理事会選任)(定数4名) 16-1-3 同窓生(理事会選任)(定数3名) 16-1-4 学識経験者(評議員会選任)(定数9名)
--	------	--

【教職員数等】

[教育職員]

	平成28年5月1日現在			平成29年5月1日現在		
	東洋学園大学			東洋学園大学		
	学 長 原田 規梭子 副学長 旦 祐介 副学長 石川 勝			学 長 原田 規梭子 副学長 旦 祐介 副学長 石川 勝		
	グローバル・コミュニケーション学部	人間科学部	現代経営学部	グローバル・コミュニケーション学部	人間科学部	現代経営学部
教 授	19名	10名	18名	23名	8名	14名
准教授	5名	4名	4名	3名	4名	4名
専任講師	3名	2名	2名	4名	6名	2名
専任合計	27名	16名	24名	30名	18名	20名
兼任講師	48名	40名	46名	46名	45名	39名

	平成28年5月1日現在		平成29年5月1日現在	
	英語教育開発センター	教養教育センター	英語教育開発センター	教養教育センター
特別講師	4名	2名	4名	2名

[事務職員、嘱託職員、現業・技術職員]

	平成28年5月1日現在	平成29年5月1日現在
事務職員、嘱託職員	81名	81名
技術職員、現業職員	1名	1名
合 計	82名	82名

2. 事業の概要

【東洋学園大学】

[学部・学科の概要]

〈グローバル・コミュニケーション学部〉

グローバル・コミュニケーション学科（入学定員120名 3年次編入学定員10名）

自国や諸外国の地域や文化、社会に関する知識の理解を深めるとともに、現代社会における重要な主題や現代社会が直面する諸課題に関する知識及び社会事情について総合的に理解することにより、実際に生起する社会事象を正確に判断し、自己の考えを的確に発信することができる現代教養人としてのコミュニケーション能力を有して、ビジネスや文化交流、社会活動、地域貢献などの幅広い分野で中核的な役割を担うことができる人材の養成を目指す。入学定員を160名から120名に変更した。

（文化交流専攻）

- ・ グローバル交流コース
- ・ アジア社会文化コース

（国際社会専攻）

- ・ 国際関係コース
- ・ 地球環境コース

（都市・メディア専攻）

- ・ 都市文化コース
- ・ 情報メディアコース

英語コミュニケーション学科（入学定員120名 3年次編入学定員10名）

英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の情報や相手の意向などを理解し、自分の考えを表現するコミュニケーション能力を養うとともに、英語に関する専門的な知識の理解のもとに、英語教育に関する基礎理論や指導法について理解することにより、国際社会や英語教育活動に必要となるコミュニケーション能力を有して、国際関連産業や文化関連産業、教育関連産業などの幅広い分野で活躍することができる人材の養成を目指す。教職課程が配置されており、履修により、中学校英語教諭一種、高等学校英語教諭一種免許を取得できる。入学定員を80名から120名に変更した。

- ・ 英語キャリアコース
- ・ 英語文化コース

〈人文学部〉

国際コミュニケーション学科（募集停止）

平成16年度に開設された人文学部国際コミュニケーション学科は、近年の志願者数及び入学者数の状況等を踏まえた上で、受験生の動向等に鑑み、平成25年度より募集を停止している。（3年次編入学定員は平成27年4月募集停止）。今後、すべての在学生の卒業をもって廃止の予定である。

〈人間科学部〉

人間科学科（入学定員200名 3年次編入学定員20名）

人間に関わる諸問題を深く多角的に理解することにより、人のこころとからだの健康の維持・増進・改善等に参与し、充実した幸せな暮らしの実現に寄与することのできる能力、および社会の様々な場面における人間関係を調整する能力を修得し、豊かで実りある人と人とのつながりの実現に貢献することのできる人材の育成を目指す。以下の通り、新4コース体制で実施した。

- ・心理・カウンセリングコース
- ・スポーツ・健康コース
- ・子どもと福祉コース
- ・人間と社会コース

〈現代経営学部〉

現代経営学科（入学定員215名 3年次編入学定員35名）

変貌を遂げる社会的環境の中で、多様化、高度化、複雑化、国際化する現代的な経営課題を的確に認識し、現代的な視点から問題解決ができる基礎的な知識や能力に加えて、21世紀の現代の社会人に求められている幅広い視野と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目的とする。起業ショップ・経営者二世コースを新設した。

（経営学専攻）

- ・企業マネジメントコース
- ・起業ショップ・経営者二世コース
- ・会計情報コース

（マーケティング専攻）

- ・広告・マーケティングコース
- ・流通・サービスビジネスコース

(経済学専攻)

- ・経済・公共コース
- ・金融コース

〈大学院〉

現代経営研究科 現代経営専攻（修士課程 入学定員10名）

東洋学園大学の教育精神に則り、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業等を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより、文化の進展に寄与することを目的とする。平成20年度より開設し、教育の充実を図るとともに地域企業と本学教員との相互交流を通じ、生きた経営学ノウハウを蓄積することを目的として、毎年全6回の研究会を実施してきた。さらに、学部と大学院がより有機的に連携し、学部入学から4年後に学士、5年後に修士の学位を取得できる「学部・修士5年一貫教育プログラム」を実施している。カリキュラムに新たに「CFP（サーティファイド・ファイナンシャル・プランナー）資格」取得のプログラムを加え、教育の更なる充実を図ることを検討した。

【教育・研究に関する運営体制等】

平成28年度入学生から全学部が本郷キャンパスで学ぶ教育体制となった。教務的側面にとどまらず、図書館やメディア教室などの教育研究施設やクラブ・サークル活動、学園祭などの行事（本郷キャンパスでの開催の検討含む）、更には教員組織、事務組織や就職支援活動に至るまで状況をみながら改善を検討した。「授業評価アンケート」を実施し、教育に係る学生のニーズの把握に努め、大学が自らの判断で社会の変化に対応して多様で特色のある教育活動を展開できるよう見直しを検討した。研究体制については、研究費の適正な執行状況の管理を行うとともに手引きをリニューアルし、教員の研究成果の公表を実施し、研究活動の透明性確保に努めた。

【認証評価への対応】

本学が公益財団法人大学基準協会より適合と認定されている期間は、平成23年4月1日から平成30年3月31日までであることから、第2期目における評価を受審（平成29年度予定）するべく、現在準備を進めている。平成28年度は「点検・評価報告書」「大学基礎データ」を作成した。この提出資料に基づき、次年度に書面調査・実地調査を中心とした認証評価を受審する予定である。

【英語教育・国際交流の充実】

英語教育開発センターにおいて平成20年度より、留学インターンシップ生の受け入

れをおこなっているが、平成 28 年度も継続して行った。

平成 24 年度に南京大学金陵学院との国際交流に関する協定が交わされ、本学で行われた中国語によるスピーチコンテストの入賞者が中国で研修を受けたが、平成 25 年度からは本学独自で中国語スピーチコンテストを開催しており、平成 28 年度も開催した。留学については、2 週間の短期留学から 1 年間学ぶ長期留学まで行っているが、平成 26 年度よりスタートした国際キャリアプログラム (International Career Program) は、JSAF (Japan Study Abroad Foundation) とパートナーシップを締結し、在学中に、1 年間の学部留学を行う体制を整え、平成 28 年度には基準をクリアした学生が留学した。

【東洋学園学生支援システムの構築】

学生の立場に立った大学づくりを目指し、充実した学生生活を送るための本学独自の支援体制の確立を目的とし、企画開発本部学生センター内に設置している学生サポート室が様々な学生相談等の窓口となり、学生相談室とも連携をしながら学生生活に対する支援を行った。相談件数が減少傾向にあるが、本郷統合により、本郷キャンパスは収容人数が増加するので、対応をより強化していく必要がある。反対に流山キャンパスは減少に転じるので、在学生のケアに十分配慮していくことを検討した。

【家族会・校友会の充実】

本学の教育方針、学生の進路等などについて理解を深めていただくことを目的として、1~3 年生の保護者を対象に家族会を実施した。また、校友会においては、東洋女子歯科医学専門学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学の各同窓会との連携を深める為、本郷キャンパスで行われた学園祭の際、創立 90 周年を記念し基調講演を実施した。

【東京オリンピック組織委員会との連携】

2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と全国の大学が連携し、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会気運の醸成等の取り組みを進める為、組織委員会が大学に協定締結を呼びかけ、本学も締結に応じている。文京区との協同で「おもてなし英会話講座」を開催し、好評を得ている。学生ボランティアの可能性を含めて、学生部、広報室が中心となり、協力活動を進めた。